

今日から 3学期がスタート！

あけましておめでとうございます。2022年がはじまりました。

みんなはどんな1年にしようと思っていますか？僕は、『学ぶ』を大切にする1年間にしたいと思います。この3学期に出会う「楽しいこと」「つらいこと」「おもしろいこと」「がんばること」「考えること」などを見逃すことなく、正面から受け止め、積み重ねていくことを大切にしましょう。

ひとつひとつにベストを！ みんなでやりきる3学期に！！

なぜ勉強しなければならないのか？

「なんで勉強しないとあかんの？」こんな質問されることがあります。でも、なかなかこれっていう「正解」が出なくてモヤモヤしています。だから、「なんで勉強したほうがいいんだろう」ってことに向き合ってみました。

Aさん「**幸せになるため**」

幸せと勉強に何の関係があるのか
いまいちピンとこない。

つまらない勉強をしてまで、出世
や高収入が欲しいと思わない。

Bさん「**出世して高収入を得るため**」

Cさん「**立派な社会人になるため**」

勉強できなくても、立派な人は
立派でしょ。

勉強しなくても貢献できるよ。
気持ちが大切でしょ。

Dさん「**社会に貢献するため**」

さすがに、ここまで否定すると「なんでそんなことを思ってるの？」と聞き返されます。「勉強がつまらないし、嫌いだからです。」って答えて、ずーっと平行線の会話になりそうですね…。

では、「なぜこんなつまらないことをしなければならないのか、納得のいく理由を知りたい。」って聞いてみると、どんな答えが返ってくるのでしょうか？

「勉強するとどんな楽しいことがあるのか？」を知っておくべきです。

勉強することによる具体的で直接的で切実なメリット

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1)もっと楽しく遊べる | (2)もっと楽しく仕事ができる |
| (3)もっとすばらしい友達をつくれる | (4)騙されてひどい目に合いにくくなる |

(1)「遊び」について

筋力や体力があるといろんなスポーツを楽しめるように、基礎的な学力があると
いろいろな知的な遊びに挑戦できる。

英語ができれば、決められたツアー旅行じゃなく、自分のペースで世界中を、現地の
人々に混じって放浪するような旅行が楽しめる。そうすると、まったくの異空間、異質な
空気、別世界に入るという感じで、濃密な異文化リアリティが本当に面白い。

語彙量があれば、人生論や価値観みたいな、自分の生き方を考え直しちゃうような深い
話題に出会えたりもする。歴史や古典に強ければ、京都・奈良の旅は何十倍も楽しめる。
現在のその苔むした古寺に行き着くまでの人間の喜怒哀楽と思惑のドラマが走馬灯のよう
によぎって、古刹の前で涙が出てくる。

科学に強ければ、読める小説の種類だって、ぜんぜん違ってくるし、感動して泣ける映
画の数ずっと多くなる。同じマンガでもアニメでも映画でも、多角的な角度から、ずーっ
と深く深く味わえる。**勉強することで、遊びが広がりいろんな感動との出会いが待っている！**

(2)「仕事」について

クリエイティブで面白いワクワクする仕事というのは、たいてい「能力」の高い人間に
独占されているのが現実。「能力」のない人間は、ものごとが決まったあとに、決められ
たとおりに指示される側で、単調な仕事が多い。誰にでもやれる仕事で、誰にでも代わり
ができると思われ、そんざいに扱われるときもあります。ここでいう「能力」というの
は、英語を使いこなしていること、数字に強いこと、法律に強いこと、社会のしくみをよ
く分かっていることなどの基礎的な力のことです。

たとえば、会議でどのような企画を展開するか議論しているときに、すごいスピードで
暗算して予算を計算したり、会話を先読みできないと、ついていけません。アイデアを出
すどころじゃないのです。つまり、足し算、引き算、掛け算のスピードと正確さを高めて
おくことは、大切なことなのです。科学や歴史が必要かどうかは分野による。必要でない
仕事も多い。ただ、できないとそれらが必要な仕事はできなくなる。

やりがいのある仕事を選ぶことができるように、勉強しておくことは必要！

(3)「友達」について

友達のことをわかってほしいとしない、困っている友達がいても「かわいそうだ」と思いな
がら何もできない。たくさんの友達に必要とされ、心から感謝されるというのは、うれし
いし、力がみなぎってくる。逆に、友達から必要とされず、軽視され、口先だけの感謝の
言葉しかもらえないというのは、なんだかさみしい。

基本的な教養がないと友達の範囲も会話の範囲も限定されてしまう。旅行先で出会う人
は、基本的な教養が「共通言語」になっているということがよくあります。

(4)「騙されないため」について

徒然草に「多くはみな虚言なり」という言葉があります。これは今も昔も変わらない。
どれがインチキで、どれがホンモノか、どうやって確かめるのか？ 専門家なら自分で調べ
たら分かるけど、専門家になるのは難しい。テレビとかインターネットとかには、いい情
報がたくさんある。でも、インチキな情報も溢れている。つまり、教養がなくても、情報
はたくさん得られるけど、どの情報が虚言でどの情報がホンモノなのかを、「確かめる」
ことができないのが現実なんです。だから勉強する。見極める。

勉強すべきかどうか、なにをどのくらい勉強すべきかは、人によって異なると思う。
でも、どんな人であっても、勉強したほうがもっと楽しく遊べるし、もっとすばらしい
友達がたくさんできるし、もっといい経験をたくさんすることができると思います。